



危害・危険情報

令和5年8月28日
生活文化スポーツ局

家具の転倒防止対策、非常防災用品の点検をしましょう！

9月1日は防災の日、8月30日～9月5日は防災週間に指定されています。関東大震災から100年目となるこの機会に、**家具の転倒防止対策や非常防災用品の点検**を行い、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。

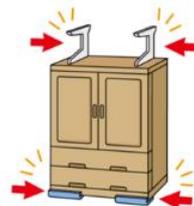


事故、ヒヤリ・ハット事例

- 地震発生時、対策をしていなかった腰高の棚を押さえたが、激しく揺れたので手首を打撲し、傷あとが1か月以上残った。
- 地震発生時、タンスが動いて部屋に入れなくなった。
- 懐中電灯の電池を取り出そうとした際、電池から液漏れしていたため、太ももに化学熱傷を負った。事業者の調査で、電池の+と-を逆に装填していたため液漏れが起こったことが判明した。

安全対策のポイント

- ケガを防ぐため、また避難の妨げにならないよう、**家具の置き方を工夫**しましょう。
- 転倒防止器具は、地震の大きさや取り付ける家具等、条件によっては期待される効果が得られない場合があります。表示されている効果を過信することなく、**家具の上下共に器具を設置する等、できるだけ効果の高い対策**を講じましょう。
- 電池の向きを間違えて装填すると、電池から液漏れ等が起こるおそれがあります。**電池の向き（+と-）をよく確かめて、正しく装填**しましょう。
- 非常防災用品は、**期限切れのものや劣化しているものがないか定期的に確認**し、災害時に使用できるようにしましょう。



◎参考

- ①《ヒヤリ・ハット調査「非常時（震災時）におけるヒヤリ・ハット調査」》
東京暮らしweb（平成23年8月31日）
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/infant_sinsai.html
- ②《商品テスト結果「家具転倒防止器具の性能」》東京暮らしweb（平成27年3月10日）
https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/anzen/test/kagu_tentouboushi.html
- ③《電池の発熱、液漏れ、破裂に注意しましょう！－災害用の懐中電灯やラジオの点検を－》
国民生活センター（平成30年7月20日）
https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20180720_1.html
- ④《知ろう・学ぼう・防災知識 日頃の備え 災害が起きる前に（自宅編）》東京都防災ホームページ
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000027/1000286.html>

詳しくはこちらをご覧ください。



<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp>



問合せ先

東京都生活文化スポーツ局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082